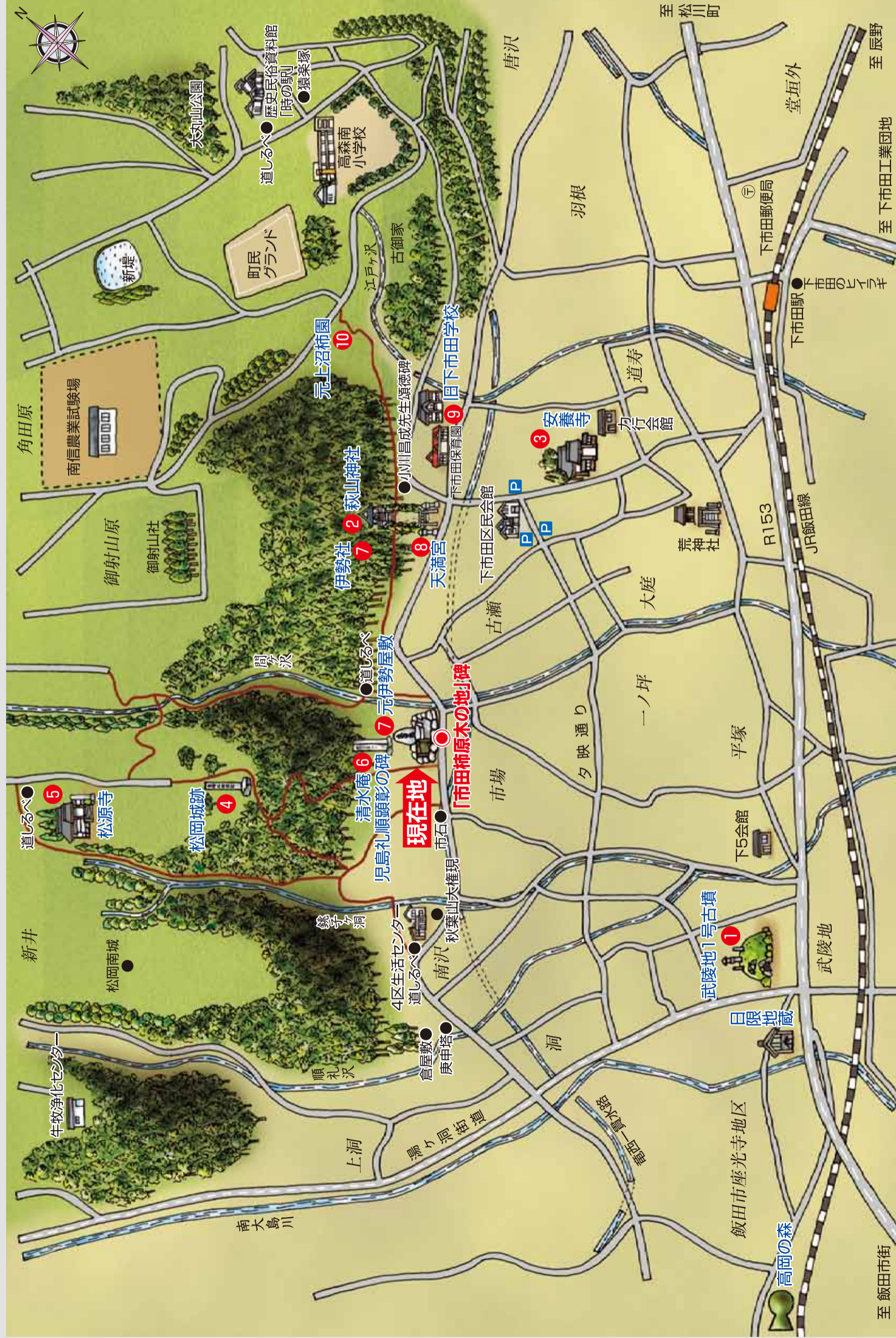


# 市田柿に関する歴史的なことがらと原木の地 周辺案内図



時代	西暦	和暦	ことがら	
古墳	300	原始		
		飛鳥	588	武陵地1号古墳に富本銭が副葬される
		奈良	710	松岡氏四代常刀、萩山神社を創建する
平安	800	奈良	794	松岡氏九代伊予守貞景、安養寺を創建する
		平安		この頃 松岡城を築城する
		室町	1523	松岡石衛門大夫貞正、牛牧山に松源寺を創建する
鎌倉	1200	鎌倉	1192	間ヶ沢観音堂(清水庵)この頃開かれる
		室町	1333	
		室町	1338	
江戸	1600	室町	1392	
		戦国	1467	
		安土桃山	1573	
近世	1700	安土桃山	1603	
		江戸		
		江戸		
近代	1800	明治	1868	
		大正	1912	
		昭和	1945	
現代	2000	昭和	1989	
		平成		

時期	西暦	和暦	ことがら
1 奈良時代	八世紀末	—	武陵地1号古墳に富本銭が副葬される
2 平安時代	一一八三年	寿永二年	松岡氏四代常刀、萩山神社を創建する
3 南北朝時代	一三三八年	延元三年	松岡氏九代伊予守貞景、安養寺を創建する
4 室町時代	—	—	この頃 松岡城を築城する
5 室町時代	一五二三年	永正十年	松岡石衛門大夫貞正、牛牧山に松源寺を創建する
6 江戸時代中期	一六七五年	延宝三年頃	間ヶ沢観音堂(清水庵)この頃開かれる

時期	西暦	和暦	ことがら
7 江戸時代後期	一六〇二	文化年間	間ヶ沢に伊勢社を祀る、後に伊勢屋敷と呼ばれる
8 江戸時代後期	—	—	泰孫弘花舞臺
9 明治時代	一八八八年	明治二十一年	見島礼順、伊勢屋敷に寺子屋を開く
10 明治時代	一九〇七年	明治四十一年頃	上下市田学校を再建する
大正時代	一九二二年	大正十年	上下市田学校を再建する
大正時代	一九二二年	大正十年	上下市田学校を再建する

**1 武陵地1号古墳** 高森町史跡  
直径19m、高さ4mの円墳で、長さ8.6mの横穴式石室を備え、七世紀前半の古墳と推定される。墳丘上に秋葉大権現の石碑が祀られている。武具、馬具等と一緒に富本銭が発掘された。

**2 萩山神社** 高森町有形文化財  
平安時代の末、寿永2年、松岡城主4代松岡常刀が諏訪明神を勧請して創建した。主祭神建御名方命を奉る本殿、八幡社、須彥鳴命を奉る荒神社の三殿がある。七一年一度、寅申年に御柱祭が行われる。

**3 安養寺** 臨済宗 本尊：阿彌陀如来  
延元3年、松岡城主9代松岡貞景が禅道場として開善寺の古鐘明千禪師を開山に迎え創建した。貞景の子、貞政が亡父の三十三回忌法要に奉納した五部大經二百巻のうち梵網經が今に伝わる。

**4 松岡城跡** 高森町史跡  
松岡氏の初祖、仙千代は松岡貞則を名乗り市田城地頭に任じられ城を古城の地に構えた。南北朝時代に入り現在の松岡城の築城が始められた。段丘突端部を利用し、五つの曲輪を備えた壮大な城跡。

**5 松源寺** 臨済宗 本尊：釈迦牟尼仏  
永正十年、松岡城主第12代松岡貞正が創建。開山は貞正の弟、文叔源禪師である。文叔は京都妙心寺の二十四世住持となり、遠州井伊谷龍潭寺の住持開山、松尾門の開山など務めた名僧。

**6 清水庵境内**  
伊勢屋敷に住んでいた見島礼順は三州原藩の元藩士で漢学者でした。寺子屋を開いていた礼順は、実った柿を伊勢と一緒に焼いて食べた。その食べ方から「焼柿」と呼ばれ、接ぎ木で村中へ広がった。現在の「市田柿」の元と言われている。

**7 伊勢社**  
間ヶ沢南の伊勢屋敷にあって、伊勢屋敷にまつる伊勢社にまつる。伊勢屋敷にまつる伊勢社にまつる。伊勢屋敷にまつる伊勢社にまつる。

**8 天満宮の碑**  
原島礼順の門弟が師に対する謝意の意を表して建立された。境内南側に移されている。

**9 旧下市田学校** 高森町有形文化財  
明治21年に完成した擬洋風建築の小学校舎。香煙造り2階建ての正面に唐破風屋根の玄関が付く。この玄関は宮大工として名声の高い坂田龍吉(通称木曾亀)の作で、下市田の村自慢であった。

**10 市田柿原木の地」碑**  
市田柿の歴史を伝える石碑。柿の木のイラストが描かれている。